

2025年度_科研費公募説明会資料

学事センター学事課

2024年8月7日

1、2025年度科研費の主な変更点

2、2025年度科研費公募に関するスケジュール

3、研究計画調書の作成と提出までの流れ

4、科研費における研究倫理教育プログラムの受講

5、事務局（学事課）への問い合わせ

※【参考】公募の際に確認するページ

1、2025年度科研費の主な変更点①

研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)の確保について

【背景・課題】

- ・近年、研究活動のグローバル化が進む一方で、研究者に対する外国政府や外国機関からの不当な影響により、我が国の企業や大学等の研究者の意図しない利益相反や技術流出等への懸念が顕在化しています。
- ・こうした新たなリスクに対応しつつ、必要な国際協力を進めていくためには、**研究の健全性・公正性(研究インテグリティ)**を確保し、**国際的に信頼性のある研究環境を構築**する必要があります。

<リスク軽減の観点から新たに確保が求められる研究インテグリティ>

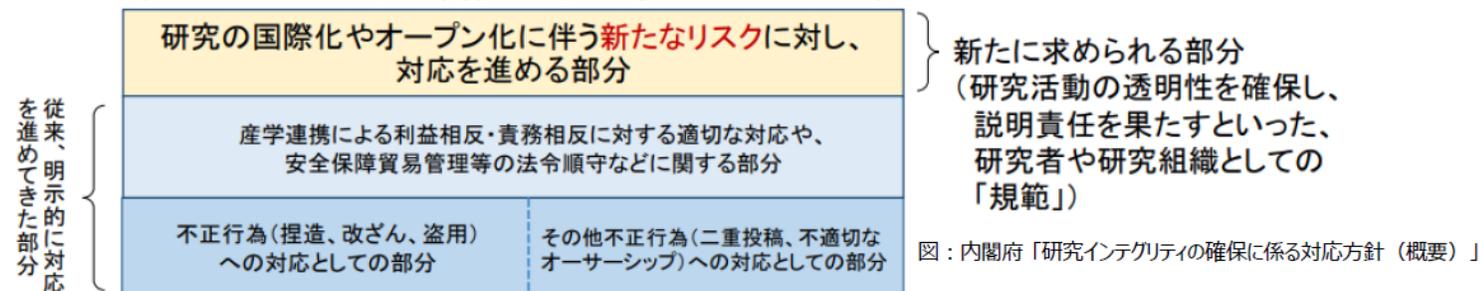


図 研究インテグリティ全体の構成

令和7(2025)年度公募からe-Radに登録された以下の情報を科研費電子申請システムに連携します。

【科研費電子申請システムに連携する情報】(下線部分は新たに追加された項目)

応募中の研究費 / 受入予定の研究費 / e-Rad外の研究費(民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費など) / 兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む現在のすべての所属機関・役職 / 所属機関への研究インテグリティ誓約状況

e-Radの【研究者情報】において、研究インテグリティに係る情報を登録していない場合、応募が出来ませんので、ご注意ください。

2025年度からの
変更点

1、2025年度科研費の主な変更点②

国際的に波及効果の高い学術研究の推進について

〈背景〉

- 我が国の研究力の強化に向けては、「科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定)等の政府方針に基づき、科研費については研究活動の国際化が求められています。
- これまで「国際共同研究加速基金」において国際共同研究や海外ネットワークの形成を促進してきましたが、コロナ禍後の国際研究交流の回復傾向や、「基盤研究種目群」における基金化の拡大状況等により、今後は、「国際共同研究加速基金」以外の研究種目においても、更なる研究活動の国際化が期待されています。
- 既に基盤研究等の枠組みでも国際競争力のある研究は数多く行われていることを踏まえ、「国際共同研究加速基金」として別枠で助成する仕組みではなく、審査によりそうした研究を見出し、助成する仕組みを構築することとします。

【参考】第12期研究費部会における科研費の改善・充実及び今後の議論の方向性について(中間まとめ)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/051/00001.htm

令和7年度公募から「基盤研究(A)・(B)・(C)」において以下の変更を行います。

【評定要素】

- 「**研究課題の国際性に関する評定要素**」を新たに設けました。

【研究計画調書】

- 今回提案する研究が**どのような国際性を有するか**の記載を求めます。

2025年度からの
変更点

2、2025年度科研費公募に関するスケジュール

研究種目名	公募開始 (日本学術振興会)	公募締切 (日本学術振興会)	学内締切
基盤研究(A・B・C) 若手研究	2024年7月16日(火)	2024年9月18日(水)	2024年9月8日(日) 23時59分
挑戦的研究 (開拓・萌芽)	2024年7月16日(火)	2024年9月18日(水)	2024年9月8日(日) 23時59分
研究成果公開促進費	2024年7月16日(火)	2024年9月18日(水)	2024年9月8日(日) 23時59分

提出厳守にご協力
ください。

※通信エラー等の事故を避けるため、すべての応募書類は**2024年9月13日(金)17時に、**まとめて提出を行います。

3、研究計画調書の作成と提出までの流れ①

Step1 : ログインの確認

科研費電子申請システムを使用するためのID・パスワードを確認して、各自で事前にログインのテストをおこなってください。

【注意事項】

※ID・パスワードを忘れた場合、リセット作業を行いますので、事務局（学事センター学事課）まで連絡してください。

Step2 : 応募書類の作成

科研費電子申請システムにログインして、応募書類（研究計画調書）を作成します。

i Web入力項目

研究課題名や応募額、研究組織などの研究課題に係る基本データを、応募者が科研費電子申請システムにより、Web上で入力する部分

ii 添付ファイル項目

「研究目的、研究方法」などの研究計画の内容を、Wordファイルに入力する部分

※必ず今年度の様式を使用してください。



科研費電子申請システムにおいてWeb入力項目を入力するとともに、Word形式又はPDF形式の添付ファイル項目をアップロードして処理を進めると、研究計画調書（PDFファイル）が作成されます。

3、研究計画調書の作成と提出までの流れ②

Step3 : 応募書類の学内提出

以下の学内締切までに、**応募書類（提出物①）**を科研費電子申請システムにより提出してください。

【注意事項】

応募時に、以下①か②にて、**誓約書（提出物②）**の提出をお願いします。

①PDF化してメール提出、②紙にて提出

※学内の提出締切：2024年9月8日(日)23時59分

以下の教員向けポータルサイトからダウンロードしてください。

[2025年度](#)

Step4 : 応募書類のチェック

応募書類のチェックを、事務局（学事センター学事課）にておこないます。

【注意事項】

※チェック終了後、必要に応じて、ご連絡する場合があります。

Step5 : 日本学術振興会に、応募書類の提出

事務局（学事センター学事課）より、日本学術振興会に、応募書類を提出します。

【注意事項】

※通信エラー等の事故を避けるため、すべての応募書類は2024年9月13日(金)17時に、まとめて提出を行います。

誓約書

山梨学院大学
学長 青山貴子 殿

私権、下記の公的研究費により研究を遂行するにあたり、本学における公的研究費の管理・監査の基本方針に基づき、配分機関が定める規則等並びに本学の公的研究費の適正な運営・管理体制に関する規程及びその他の関連規程等の内容を理解し、これを守ります。

また、配分機関が指定する研究倫理教育教材等の受講・修習または本学が実施する研究倫理教育を履修することを約束し、公的研究費が国民の貴重な税金が財源となっていることを十分認識した上で、当該公的研究費を公正かつ適正に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことを誓約いたします。

併せて、配分機関が定める規則等並びに本学の公的研究費の適正な運営・管理体制に関する規程及びその他の関連規程等に違反して不正を行った場合、これら規則・規程等に基づく処分を受け、又は法的責任を負うことを承知いたします。

【研究課題】
配分機関 : 日本学術振興会
事業者区分 : 研究代表者／研究員
研究費名 :
研究種別 :
課題名 :
研究課題 :

年 月 日

所 属 : _____
職 名 : _____
氏 名 : _____ 印

【2025年度からの変更点】
応募時に、誓約書の提出

4、科研費における研究倫理教育プログラムの受講

科研費の研究活動に参画する研究者を対象に、競争的研究費等不正防止計画に基づき、研究費等の不正・不適切な使用を防止するため、以下の研究倫理教育教材の①か②の受講が必須となります。

① **Green Book** 「通読」

「科学の健全な発展のためにー誠実な科学者の心得ー」の書籍版を既に通読している場合は受講完了となります。通読されていない場合は、以下よりダウンロードしてください。

- ・日本語版：[rinri.pdf \(jsps.go.jp\)](http://rinri.pdf(jsps.go.jp))
- ・英語版：[rinri_e.pdf \(jsps.go.jp\)](http://rinri_e.pdf(jsps.go.jp))

② **APRIN研究倫理eラーニングプログラム** 「履修」

既に履修済の場合は受講完了となります。

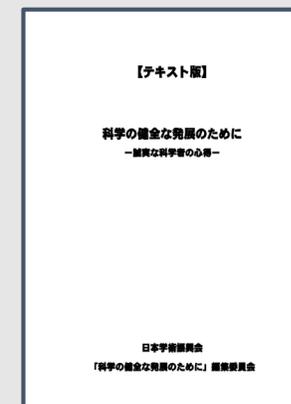
(2024年3月31日以前採用：2023年9月21日メール配信、2024年4月1日以後採用：2024年8月6日メール配信)

※ID・パスワードを忘れた場合には事務局（学事センター学事課）に連絡してください。

Green Book



電子書籍



5、事務局（学事センター学事課）への問合せ

2025年度科研費公募について、ご質問、ご不明な点がありましたら、以下の【問合せ先】に連絡してください。

よくある質問①

Q: 科研費電子申請システムのログインID・パスワードを確認したい。

A: リセット作業を行いますので、事務局に連絡してください。

よくある質問②

Q: APRIN研究倫理eラーニングプログラムの受講記録の確認をしたい。

A: 受講記録をお伝えできますので、事務局に連絡してください。

よくある質問③

Q: 科研費の応募にあたり、再度、APRIN研究倫理eラーニングプログラムを受講したい。

A: 再度の受講も可能ですので、希望される場合には、事務局に連絡してください。

問合せ先

事務局：学事センター学事課

担当者：吉澤、佐野

TEL：055-224-1234

E-mail：kakenhi@c2c.ac.jp

【参考】公募の際に確認するページ

○教員向けポータルサイト

[2025年度](#)

※公募要領、日本学術振興会主催の科研費公募説明会の資料等が格納されています。

○日本学術振興会 科研費ページ

[科学研究費助成事業 \(jsps.go.jp\)](https://www.jsps.go.jp)

○科研費電子申請システム

[科研費電子申請システム \(jsps.go.jp\)](https://www.jsps.go.jp)

○公募に向けた科研費関連FAQ

[科研費FAQ \(jsps.go.jp\)](https://www.jsps.go.jp)

○研究者用ハンドブック

[r6_handbook_kenkyusha.pdf \(jsps.go.jp\)](https://www.jsps.go.jp)

※研究計画調書の作成に当たっては、評定要素を十分にご確認ください。

○科学研究費助成事業(科研費)審査・評価について

[審査・評価について \(jsps.go.jp\)](https://www.jsps.go.jp)